

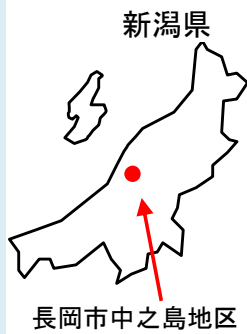
地域農業の在り方等を踏まえた市町村支援計画等の概要

【地区の概要】

- 稲作が中心の平地農業地域。
- ほ場整備による大区画化で農地の集積が進んだものの、高齢化や農業従事者の減少等により担い手が不足し、多様な経営体の育成・確保及び担い手への更なる農地集積が課題。

【支援内容・背景】

- 離農の増加や集落営農が組織されない地区もある状況から、受け手となる担い手に対して経営面積の拡大が求められており、担い手の生産体制強化が必要。
- 助成対象者は水稻を単一経営する担い手であり、本地区の離農者の受け皿として農地集積を推進するため、経営面積の拡大を図るとともに高収益化を目指した栽培手法と効率的な機械利用による経費削減により、農業所得の向上を計画。このため、水稻経営における経営力強化の取組モデルとして支援。



助成対象者「中島明則氏」の経営の状況と事業内容

【経営の経緯】

- 平成19年 父親の死去により経営面積3 haで本格的に就農
- 平成21年 農業経営改善計画の認定。スーパーL資金で6 haに面積拡大
- 平成22年 有機JAS栽培に取組
- 平成25年 面積が約10 haに拡大
- 平成30年 面積が約12 haに拡大
- 令和元年 G-GAP認証(2年間)
- 令和4年 高価格帯のブランド米「新之助」の作付面積を拡大
- 令和5年 経営面積を約14 haに拡大

《事業活用の背景》

○ 経営力強化のためには、経営面積拡大と効率的な機械利用による収支改善が必要。このため、主要な作業機械であるトラクタ作業において効率化・省力化に資する自動操舵システムを導入。

【事業実施時の状況】
〈R3年度〉

- 売上高 12,000千円
- 付加価値額 22千円
- 経営面積 11.87 ha (水稻)

《事業による整備内容》

- 自動操舵装置 1台
- 事業費 2,219千円
- (国費 1,000千円)



【現在の経営状況】
〈R6年度〉

- 売上高 22,000千円 **(183%)**
- 付加価値額 6,757千円 **(31,310%)**
- 経営面積 14.4 ha **(121%)** (水稻)

事業の
効果

《対象者》 経営面積拡大が実現するとともに、効率的な機械利用による経費削減により付加価値額が増大。

《地区》 農業従事者が減少する中で、水稻の生産体制が強化され地域農業をけん引する経営モデルが確立。